

◎ 社会部門（小）

1 行事及び内容

（１）研究主題「持続可能な社会の創り手を育てる社会科学習」

～確かな理解を根拠に、協働的な学習を通じた提案型学習～

（２）研究内容

①科学的な知識や概念を身に付ける学習過程

（社会問題・地域素材の教材化、単元で身に付けさせる知識・技能と、社会的な見方・考え方を明確にした単元構造図の作成）

②社会科における「主体的・対話的で深い学び」の在り方

（確かな理解を根拠に、社会問題の解決方法の提案や行動化の意欲を高める単元構成、主体的・対話的で深い学びを実現するための問いや資料の精選）

③問題解決や自分の生き方の工夫につなぐ評価の工夫

（社会と子供たちをつなぐ振り返りの視点、子供たちの学びに対する評価の工夫）

④小中間のスムーズな学びの接続を図る小中連携の接続の在り方

（３）研究経過

①6月11日（金） 第1回研究委員会（小中合同）

研究の方向性、研究組織、年間事業計画

②8月 3日（火） 小学校社会部門研修会

実践発表 3年「店ではたらく人と仕事」

発表者 天草市立本渡北小学校 平野加寿美 教諭

講話 「楽しく学び合う社会科の授業づくり」

講師 苓北町教育委員会学校教育指導員

高木 政光 先生

③2月10日（木） 第2回研究委員会（小中合同）

研究経過報告 本年度の反省

来年度の志向

2 本年度の成果と課題

本年度は、学習指導要領の全面实施から2年目となり、主体的・対話的で深い学びをめざした授業改善の必要性から、小学校社会部門研修会を開催した。昨年度の県大会（本渡北

小で開催）で紙面発表を行った3年生の実践発表と講師の高木先生の豊かな実践に基づいた講話という内容での研修であった。参加者からは、「3年生を担当している。実践内容を具体的に教えていただいたので、2学期に実践したい。発問の工夫、実態に応じたシートの工夫等、大変参考になった」、「講話は、実践的な内容が豊富で参考になった。特に資料活用の力をつけるための全体を見る、部分を見るは発問に生かしていけると思った」、「高木先生の授業づくりへの熱い思いがあふれる内容であつという間の1時間半だった。とてもたくさんの事例があり、体験しながら学ぶことができたありがたかった」等の感想があり、好評であった。

来年度は、全国大会が熊本市で行われるので、さらに県の理論を受けて天草支部の研究を深めていきたい。また、楽しく学び合う社会科の授業づくりという視点での研修も引き続き行っていきたい。

